

9月1日 2013(平成25年) 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

誕生祝福式

司 会 : 赤塚敏郎 兄
奏 楽 : 片岡立子 姉
おいのり : 持田樹理 姉
さんび : 新聖歌 236 (あだに世をば過ごし) 1・2・4 節
使徒信条
聖 書 : ルカによる福音書 8 章 22~25 節
(朗読: 平松友子姉)
音 楽 : Special Young Band
メッセージ : 「幸せは予約済みです」 倉知 契 牧師

さんび と 献金 : ♪ 明日はどんな日か
頌 栄 : ♪ 新聖歌 63 「父 御子 御霊の」
祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 花は咲くプロジェクト瀬戸にどなたも歓迎します。現在登録40名瀬戸の方、尾張旭、春日井、小牧と多くの方が参加くださいます。次回の練習は、9月7日(土)と9月8日(日) 13時半~
- ◇ 9月16日(月・祝)は献堂7周年でもあります。大和から大川先生やスタッフ・補教師の方10名程、また信徒の方も20名来てくださいます。瀬戸のメンバーも総出でおもてなしたいと思います。ご協力ヨロシクお願いします。(詳しくは今日の役員会で決定し、来週伝えます)
- ◇ 今週も祈禱会を大切に!
木曜10時半 / 土曜掃除10時半・祈禱11時15分
- ◇ 宿題(祝大)で聖書の楽しさを体験しましょう!
Aコース: I コリント7章~11章 Bコース: 詩篇124篇~147篇

◇次聖日礼拝奉仕者(2013年9月8日)
[司会: 小木秀夫兄、いのり: 下岡晶子姉、聖書朗読: 赤塚孝子姉]
[ピアノ: 米田 香姉]
[アシスト: 加藤由美子姉 & 大神美乃姉]
[献金: 赤塚孝子姉、受付: 加藤和代姉]
◇PA: 平松章治兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄
◇ホームページ編集: 大神真伸兄



「あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。」
(1ペテロ五の七 新改訳)

三浦綾子さんの本はどれくらい読まれたことがあるでしょうか。映画になった「塩刈峠」もそうですが、高校生のとき「氷点」「続・氷点」を息の飲みながら読んだことを思い出します。

現在まで人気のある三浦文学を支えたのはご主人の三浦光世さんでした。綾子さんは、『小さな一歩から』という本の中でこう書いています。「介護とは特別に何かをしなくても、言葉だけで、かなりの介護の働きをなしていることに気がついた。夜消灯する前、三浦は私に言う。「何も心配することはないよ。安心して眠れよ。わたしが、ついているからな。何べんでも起こせよ」。この言葉は、何ものにも勝って大きな介護である。」

生涯病気の連続であった三浦綾子さん。晩年にはパーキンソン病で苦しみました。歩行も困難、トイレも介護が必要、幻覚幻聴にも悩まされていたようです。そのような妻、綾子さんを、夫の光世さんは、誠心誠意介護されました。毎朝一時間、マッサージし、夜には何度も起きてトイレに連れてゆきました。自分だけゆっくり眠ろうという気持ちは、さらさらありませんでした。そのことを綾子さんは常に感謝し、内心申し訳ないという気持ちも大きかったでしょう。そのような気持ちをくんで、消灯前の光世さんの優しい言葉。「何べんでも起こせよ」。この言葉に綾子さんは、大きな安心感と癒しを覚えたに違いありません。

「深い心の底から出る愛の言葉」「あたたかい言葉」は、聞く人々に安らぎと癒やしを与えます。ここに真の介護の原点があるのではないのでしょうか。

花は咲くプロジェクト瀬戸の発表を、介護付き老人ホーム「しなのの里」(教会員の深見さだ子さん 100歳が入所)でもさせていただくことになりました。日程を含め詳細はこれから相談ですが、「花は咲く」「置かれた場所で」などを歌いに行きます。いよいよ9月、発表も間近です。デモCDを使って、車や家で練習してください。今週の土曜と次の日曜が最後の練習日。ぜひ休まずご参加くださり、「深い心の底から出る愛の歌」を届けましょう。きっと誰かの心に美しい花が咲きますよ、光世さんの一言が、綾子さんの心に花を咲かせたように…。

瀬戸カルバリーチャペル

倉知 契